

研究資料

台湾高雄市内門区における宋江陣の調査報告：

第8回大学生創作宋江陣コンテストを中心に

鄭 稼棋*・庄形 篤**

I. はじめに

本稿は、台湾高雄市内門区¹において伝承される「宋江陣」と呼ばれる「芸陣²」に関する調査報告である。「芸陣」とは、中国や台湾で宗教的な意味合いを持つ行列においてアクションパフォーマンスを行う団体である。

宋江陣の起源は中国にあり、宋の時代（960-1279）に演出者が変装し、戯曲として演じられていた³。武術としての始まりは、史料が残っておらず明らかにされていないが、伝説によると、宋代の俠盜⁴である宋江が軍隊の強化および個人の武術能力を補足することを目的とし、天罡星三十六星（人）と地煞星七十二星（人）の布陣隊形をとって城を攻めたことに始まるとされる⁵。

中国明代（1368-1644）の軍人であった鄭成功は、清代（1644-1912）を滅ぼし明代を復興するため、福建を拠点に大衆から官憲に反抗する英雄を集め、中国武術を基礎とした宋江陣を形成した⁶。その後、清代初期に台湾に渡った鄭成功は寓兵於農と呼ばれる屯田制度を実行し、台湾に宋江陣を基礎とした軍隊を作り上げた⁷。これが台湾における宋江陣の始まりとされる。

しかし、次第に鄭氏の勢力が衰え、清政府が台湾の治安を軽視したことにより、漳族と泉族、閩族と粵族などは、頻繁に水源や土地の問題で衝突を起こした。このような状況下で自らの身を守る

ため、各地の霊場（お寺）で武術の師匠が宋江陣を取り入れ、武術や陣形の組み方等の指導が寺院で執り行われるようになり、宋江陣は担い手や機能を変化させていった⁸。

日本植民時代（1895-1945）には、日本政府による武術禁止の影響を受けて武術組織が衰え、地方の治安は改善されていった。この時代の宋江陣は、日本軍に反日組織と誤解されるのを防ぐため、徐々に祭りの演出の一つへと変化し、宗教的要素をもって行われるようになった⁹。

日本統治時代後は社会形態が変わり、若者は就学や仕事のために地元を離れ、都市への人口流出が起きた。そのため、それまで一般的であった七十二星布陣は困難になり、三十星布陣が一般的な型式となった。さらに、水滸伝のストーリーは維持しつつも、多彩な武器を使用するなどの変容を経て、人々の注目を集めるものとなった¹⁰。宋江陣は、現在では武術の演習と肉体の鍛錬のために行われ、他方でレジャーとして人々を楽しませる要素もあると指摘されている¹¹。

2005年以降、高雄市内門区において大学生を参加対象とした現代音楽と芸術が融合する大学生創作宋江陣コンテストが毎年開催されている。中国で生まれ台湾に伝播し、時代の趨勢に合わせて担い手や目的が変容してきた宋江陣は、大学生という新たな担い手を受け入れることになった。本稿は、2012年3月3日から11日にかけて行われた第8回大会を対象とし、担い手の変化による宋

*台湾工業技術研究院

**上智大学文学部

江陣の変容に焦点を当て、台湾における宋江陣の現況について報告するものである。なお、本稿は特に断りのない場合はフィールドワークで得たデータ¹²に基づくものとする。

II. 調査地の概況

台湾高雄市内門区は高雄市の北に位置し、四方を山で囲まれ、「惡地（ウーティー）¹³」と呼ばれる地形である。面積は約95.6224km²、2019年8月30日現在、人口は約1万5千人である。古代、平埔族（原住民族の一つ）の居住地であり、「Rohan」と称された。日本統治時代は内門庄と呼ばれ、高雄州旗山郡に属していた。戦後は高雄県内門郷になり、2010年、高雄市と高雄県の合



図1 紫竹寺（陳逸倫撮影 2012.3.9 高雄内門区）

表1 2001年 台湾 12大節慶

月別	名前	活動地点
二月	台湾慶元宵	高雄、台北、平溪、鹽水、台東、澎湖
三月	台湾高雄市内門宋江陣	高雄内門
四月	台湾媽祖文化節	台中、嘉義、雲林、台南
五月	2001 三義木雕藝術節	苗栗
六月	台湾慶龍船賽	台北、基隆、宜蘭、彰化
七月	2001 年宜蘭國際童玩藝術節	宜蘭
八月	中華美食展	台北
九月	2001 年雞籠中元祭藝文華會	基隆
十月	2001 花蓮國際石雕藝術季 2001 鶯歌陶瓷嘉年華	花蓮 鶯歌
十一月	亞洲盃國際風浪板巡迴賽	澎湖
十二月	2001 台東南島文化節	台東

出典：中華民國交通部觀光局（2001）。觀光政策白皮書に基づき、研究者作成

併により高雄市内門区となり、現在に至る。

清の時代、台湾の他の地区と同様に内門区は治安が悪く、住民は自己防衛のために武術組織を形成し、自己防衛術として宋江陣を取得した。日本統治時代以降は、宋江陣は各陣頭¹⁴が紫竹寺観音菩薩生誕祭の際に、水滸伝の演出に合わせて行われるようになっていった¹⁵。

現在、高雄市内門区の宋江陣は、生活の安定や信仰、住民の団結力を高めることを目的として行われている。また、内門区の安定性を維持するため、寺院内での教育的要素も加わった。さらに、2001年には内門区宋江陣が台湾観光局の定める12大節慶（祭り）に指定されたことにより、内門区における宋江陣は新たな局面を迎えている。12大節慶とは、観光局が月毎に代表的な12の祭りを定め、国内外からの観光客を集めることを企図し、2001年2月より開始した制度である¹⁶（表1）。

黄碧恭総幹事（以下「黄総幹事」と略す）は、「内門区の宋江陣活動は、2005年南海紫竹寺の主催により始まり、またその年に初めて大学生を対象とした大学生創作宋江陣を開催した。この大会の開催により、観光による経済効果を得ることができた。台湾国内、海外からの観光客も台湾の重要な文化資源を楽しんで欲しい…伝統的な宋江陣は比較的保守的で変化も起こさず、宗教的な意味合いが強いために非信者には受け入れ難いものであるが、創作宋江陣はこの点を改良した。創作とドラマ性に溢れ、様々な人に受け入れられている¹⁷」と話し、2005年から文化保護と観光産業の発展のために宋江陣コンテストを行っていることを示した。他方で、許貴豪が「内門区の人々は宋江陣を共有の活

表 2 「高雄内門宋江陣」年代別主催者（筆者作成）

年代	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
地点	南海 紫竹	内門 紫竹	南海 紫竹	内門 紫竹	順賢宮	順賢宮	南海 紫竹	内門 紫竹

動だと認識しており、観音生誕祭は家族全員で参加している¹⁸」というように、霊場（お寺）が主催する伝統的な宋江陣も維持されており、伝統文化としての側面も維持していると考えられる。

2009年には、宋江の文化を印象付けるため、内門区役所は1700万元以上の費用を投資し、内門区の国道の台3線の上に、宋江陣、武器、盾などの銅像などを設置し、「青道巷」と名づけて宋江陣のPRを行った¹⁹。また、観亭橋の入口と南海紫竹寺蓮花座の入口にもモニュメントを設置した。

III. 「2012 高雄内門宋江陣」の概要

「2012 高雄内門宋江陣」は、2012年3月3日から11日まで高雄市内門区で行われ、各地の伝統芸の披露、大学生宋江陣コンテスト、伝統宋江陣披露等のイベントが行われた。当大会は、2001年に内門紫竹寺と当地に本籍がある実践大学の協力のもとに始まったもので、当時は伝統的宋江陣のみが披露され、高い評価を受けた。その後、多くの若者の参加を企図し、2005年に初めて大学生創作宋江陣コンテストが開催され、各大学からの参加者を募った。

「高雄内門宋江陣」は、2012年に台湾観光局が主催するイベントの12大節慶の一つとして認められた。2012年は観光局の指導の下、高雄市政府が主催者となり、高雄市観光局、高雄市政府新聞局、内門紫竹寺と内門区役所の協力により開催された。新聞局はテレビ放送の手配、ドローン撮影などのメディアの段取りを行い、内門区役所は現地組織との協力、当日案内所の設置、ならびに内門の観光情報の発信を担った。

内門区は様々なスタイルの芸陣と特色のある寺

院で溢れている。内門紫竹寺²⁰、南海紫竹寺²¹、順賢宮²²は内門区の三大信仰拠点であり、同時に内門区住民の生活の中心であると黄氏はいう。内門紫竹寺と南海紫竹寺は、分裂以来長らく交流がなかったものの、高雄市の合併により関係が改善された。「高雄内門宋江陣」は、2005年以降、この3つの寺院が共同開催している（表2）。公式ホームページによると、開催寺院は各寺院に祀る神の生誕に基づいて決めている。しかし、実際に開催寺院を決める方法はポエ占い²³が取られ、ポエ占いで聖杯²⁴をより多く獲得した寺院が開催権を得る。

IV. 大学生創作宋江陣コンテストにおける伝統と創造

2012年で大学生創作宋江陣コンテストは8年目を迎えた。創作のスタイルも多様化してきた。毎年各地の伝統クラブと新しいクラブが切磋琢磨し、若者の伝統芸陣に対する理解も深まり、台湾の宋江陣文化に対する誇りも高まっている²⁵。

「2012年創作宋江陣頭審判内容及び基準²⁶」によると、「大学生創作宋江陣コンテストは伝統宋江陣法と創造性があるダンス、功夫（カンフー）、音楽、台本などを合わせ、新たな宋江精神を追求する²⁷」とされ、評価基準は伝統と創造性の2つの要素から成り立っていることがわかる。さらに詳細な審判基準を見ると、4つの要素に分けて評価され、①基本的な宋江功夫と陣法－30%、②創造性とスタイル－30%、③服装、スタイル、道具など－25%、④チーム精神－15%である。つまり、評価基準に占める伝統の割合はわずか30%のみであり、創造性がより評価されることが

表 3 大学生創作宋江陣コンテスト賞金 (筆者作成)

優勝：五十万円	第2位：三十万円	第3位：二十万円
優秀賞：各十万円 (2名)	特別賞：各五万円 (3名)	

わかる。

高雄市政府は宋江陣指導の支援として宋江陣に関する教材や書籍を提供し、講師を招致する際には高雄市政府への申請で講師料 (毎回 2,000 元) と交通費が政府から支給される (最大 15 万円まで)。また、入選チームは、チームごとに賞金 10 万円、交通費 2 万 5 千元、さらには、コンテストの期間中の飲食代と宿泊費が高雄政府より提供される。くわえて、順位によって賞金が与えられる (表 3)。

このように、政府からの大きな援助を得て大学生創作宋江陣コンテストは行われ、伝統を重んじつつも、創造性という要素が重要視されているコンテストである。評価基準である伝統と創造性とはいかなるものか、さらに具体的にみていきたい。

1. 大学生宋江陣コンテストにおける伝統の順序

各大学はコンテストの前後に行われる前祭と後祭に必ず参加する。パンフレットによると、開会式前に行われる前祭には、主催者、大会関係者、各大学の参加者を集め、観音に参拝し、大会の成功を祈り、神への信仰を示す意味があり、閉会式後に行われる後祭では、もう一度全員で観音に参拝し、大会の成功を神に感謝するという意味があ

る²⁸。黄総幹事は、「宋江陣出陣前の儀式として、観音様を参拝し、訓練を全て終え、試合への参加意思を表現している。出陣前の参拝行為は、基本的な礼儀である。儀式は礼拝とされ、礼儀を表している。」とし、基本的儀式は省略すべきでないと強調する。

さらに、実践大学宋江鼓芸陣²⁹メンバーの翁氏は、「宋江陣を一つのパフォーマンスとして見ているが、その過程の中で各ルールや禁止事項を尊重している。比較的規模の大きい演出前、武器や道具や邪気を取り除く儀式を行い、紫竹寺のお守りを貼っている。大会、海外へ出る前には内門紫竹寺で参拝を行う³⁰」とし、大学生創作宋江陣コンテストの創作性を認めつつも、伝統的宋江陣の礼儀や禁止事項等を重んじていることを強調する。他のメンバーである傅氏は、「彼らは創作宋江陣に参加しているが、禁止事項は尊重しなければならない。例えば、兵器を跨がない、陣を越えるとき、外部の人間が突発的に陣に入ってはならない。田都元帥寺前、郭家祖厝から陣を敷き、退陣の儀式も省略しない。³¹」と伝統儀式と禁止事項の尊重について説明する。また、実践大学宋江鼓芸陣 OB の許氏は、「禁止事項について、男は太鼓を叩いてもいいが、女性は禁止している。武



図 2 試合前に郭家祖厝にて起陣儀式
(鄭稼棋撮影 2012.3.09 紫竹寺)



図 3 試合終了後参拝儀式
(陳逸倫撮影 2012.3.10 紫竹寺)

器や太鼓には神が宿り、適当に地面においてはいけない。実際に、過去武器を横切った者がいて、演出中に怪我をしたり…旗は倒れてはいけない、倒れたら、陣頭が倒れることを意味している。また、武器は絶対に地面に置いてはいけない、怪我をする人が出てくる。」と禁止事項と怪我について説明する。

上述のように、担い手である大学生は、伝統的儀礼や禁止事項を尊重していると指摘される。各大学宋江陣は学校内で準備・出発する際、まず初めに必ず邪気を払い、車に乗って出発する。その後、会場においても寺院での参拝方法や行動などが細かく決められており、他の陣頭に入っていないよう、特別の注意が伝えられる。

しかしながら、民俗学が専門で宋江陣研究者の呉騰達は、「高雄市は伝統文化のアピールを進めるために大学生創作宋江陣コンテストを開催している。参加する団体のなかには武器の代わりにほ

うきや発砲スチロールを使うなど、伝統的な意味合いが薄まっている。しかし、伝統は重んじるべきであり、陣法、陣式³²は保つべきである。陣式がない場合は、宋江陣ではなく、ただの武術である。新しい要素を入れてもいいが、伝統を守る事が重要である³³」と苦言を呈しており、伝統の希薄化に対する声をあがっている。

このように、大学生創作宋江陣コンテストは創造性が高く評価されるという側面があるものの、他方で担い手である大学生は伝統的儀礼や禁止事項を尊重し、伝統を重んじていると指摘される。

2. 大学生宋江陣コンテストにおける創造性

「2012年創作宋江陣頭審判内容及び基準」には、創造性について、「トピックの観賞性」、「ムーブメントの創造性」、「道具のイノベーション」、「音楽」により判断すると明記され、さらに詳細な説明が付されている（表4）。



図4 出発前校門での邪気払い
(鄭稼棋撮影 2012.3.09 高雄実践大学)



図5 武器は倒さずお守りを貼る
(鄭稼棋撮影 2012.3.10 紫竹寺)

表4 創造性に関する評価基準

トピックの観賞性	宋江陣に関する演出テーマに基づき、髪型、化粧、服装、道具等の全体的なイメージは自由に創作することができる。
ムーブメントの創造性	体操、バレエ、ヒップホップ、中国武術、西洋武術、ドラマ、演劇、芝居などを取り入れることも大歓迎である。
道具のイノベーション	伝統的兵器・新たな道具は問わず、観客の目にとまることが重要である。
音楽	電子、ポップ、ミックスなど、音楽のジャンルは問わない。



図 6 各大学演出内容紹介のパンフレット

表 4 が示す通り、動き、道具や音楽、いずれに関しても積極的に他の要素を取り入れることを推奨している。その際、「観客の目にとまる」ということが重要視されている。実際にコンテストでは選出されたすべての大学が、伝統的な宋江陣に他の要素をくわえてオリジナリティを演出している³⁴。パンフレットには各大学の特徴がまとめられている。以下はパンフレットに記載されている内容を訳出したものである。

- ①台南大学: 中華伝統踊りである龍舞, 中国武術, 剣法をテクノ調の音楽にあわせ, 陣の行列を変えながら踊る。
- ②義守大学: 中国武術と棒術をもとに迫力がある

- 音楽, 太鼓に合わせ, 宋江陣の精神を現す。
- ③実践大学: 太極拳と八卦の精神に基づき, ポップミュージックや布袋劇音楽に合わせ, 多彩な衣装で水滸伝のストーリーを演じる。
- ④中国醫事科技大学: 台湾の伝統的な寺院文化を求め, 神を模した人形の中に人が入って踊り, 台湾祭り文化と宋江陣の「魂」を観客に紹介する。
- ⑤正修科技大学: 宋江陣を中華文化の龍舞と獅子舞に融合し, 伝統性と創造性の両立を強調する。
- ⑥国立台湾戏曲学院: 中国戯曲の古調, 舞踊や雑技で人目を惹き, 水滸伝の人物である宋江のストーリーを演出する。
- ⑦龍華科技大学: 古代中国の自然哲学である五行(金木水火土)概念を用い, 中国武術で万物の変化や循環することを演じる。
- ⑧康寧大学: ヒップホップダンスと取り入れ, セクシーなスポーツウェアで活気のある次世代文化を表現するとともに, 内門区の歴史を紹介する。

実践大学宋江鼓芸陣の『台本』(2012)によると、台湾宋江陣は、千年の歴史を有する陣法、中華民族の無形の魂である。その変化は陰陽太極, 四象, 八卦の祖先の知恵からなっている。実践大学宋江陣は八卦(古代哲学に基づき, 卦象の色が記述されており, 白乾, 黃坤, 白兌, 黃艮, 赤離, 黒坎, 藍震, 綠巽に別れている)を用い宋江陣の美学を

表 5 各大学演出内容 (筆者作成)

大学	創造性 (新たに取り入れた要素)	衣装・道具	成績
台南大学	舞龍	龍, ギター	2 位
義守大学	中国武術 棒術	棒	
實踐大学	八卦 水滸傳	旗, 斧, 太鼓	
中国醫事科技大学	台湾のお寺祭り文化	神様の人形	
正修科技大学	龍舞獅子舞	龍, 獅子	
国立台湾戏曲学院	中国戯曲 (舞踊や雑技)	中国戯曲の道具, 楽器	優勝
龍華科技大学	中国武術, 五行 (金木水火土)	旗, 扇子, 太鼓	3 位
康寧大学	ヒップホップダンス	チーム T シャツ	

表現し、観客に台湾宋江陣の陣変形の美しさを見せている。八卦の各色に基づいて衣装も設計しており、祈ることで更に生々流転の意味を示している。さらに、新たな試みとして布袋劇³⁵音楽を取り入れた³⁶。実践大学宋江鼓芸陣OBの許貴豪は、「今年度実践大学の演出内容は伝統陣法を基礎とし、八卦、易経、太極を融合したものである。流行の音楽を取り入れず、布袋劇音楽と太鼓が元になる。全体の演出の構想は、変化を表現したものの、一般部隊が徐々に力を増していく変化などに分けられる。舞台設計などをする必要もない。服装は道教と八卦の要素を取り入れたもの。戦いに用いる盾の感じ。髪の毛に光沢度があると舞台演出効果も上がる」とその意図を説明した。

このように大学生創作宋江陣コンテストでは、さまざまな新しい要素が宋江陣に取り入れられている。そのなかで、多くの禁止事項との調節が行われている。女性の参加問題もその一つである。吳騰達は「以前が女性は宋江陣を踊ってはいけな



図7 実践大学 2012 創意宋江陣—八位掛神
(鄭稼棋撮影 2012.3.9 高雄内門拍)



図8 実践大学 2012 創意宋江陣演出者造型
(翁平育(左二)提供)

かったが、現在は人不足もあり、女性でも参加が可能である」という。また、実践大学宋江鼓芸陣を例にとると、「女性が比較的多い。成立以前に、観音菩薩のポエ占いで、同意を獲得し、もし生理の時期だったら、出陣に出ても構わないが、手は清潔に洗う必要がある。」と決められているという。

このように、大学生宋江陣コンテストは、「2012年創作宋江陣頭審判内容及び基準」が推奨する通り、創造性豊かに執り行われ、それに伴う伝統との折り合いが図られている。しかしながら、実態としては「観客の目に留まる」ということが重要視されるあまり、創造性が高まり続けているあり様が窺えた。今後、さらなる変容に注目する必要があると考えている。

V. おわりに

大学生宋江陣コンテストは、伝統文化にふれる機会を提供するとともに、新たな担い手を育成し、宋江陣を次世代へ継承する一つの方法として機能しているといえる。しかしながら、地元住民に限られていた担い手に、大学生という新たな担い手を受け入れることにより、他の伝統から若者文化に至るまで様々な要素を宋江陣に取り入れ、「観客の目」を指針に大きく変容して行く様子が窺えた。一方で、地元の宗教との繋がりが希薄化する反面、宋江陣の伝統的禁止事項と儀式は尊重され、礼儀と伝統継承などの重要性に関する認識は保たれていた。ここには、伝統と創造性のダイナミズムが垣間見られる。

最後に、調査のなかで高雄内門宋江陣と観光や文化政策との深いつながりが見受けられた。文化人類学が蓄積してきた観光化や文化資源化といった理論モデルから高雄内門宋江陣に接近することが今後の課題である。

【注】

- ¹ 内門区は元高雄県（現高雄市）にある。高雄県は2010年に高雄市と合併され、高雄市となった。本稿では、便宜上2010年以前も高雄市と表記する。
- ² 芸は民族武芸を指し、陣は陣頭の略称である。
- ³ 林英亮, 2002, p134。訳出は筆者による。
- ⁴ 富裕層から金品を奪い、困窮する者には援助を惜しみなく与える者のことをいう。
- ⁵ 宋江陣は水滸伝（中国時宋代の小説である）の物語の1つであり、天罡星三十六星と地煞星七十二星は水滸伝に登場する108星（人）を指す。
- ⁶ 徐麗霞, 2001, p105。訳出は筆者による。
- ⁷ 董芳苑, 1982, p25。訳出は筆者による。
- ⁸ 陳丁林, 1997, p16。訳出は筆者による。
- ⁹ 陳丁林, 1997, p16。訳出は筆者による。
- ¹⁰ 何黎明, 黃凱章, 黃永全, 2008, p106。訳出は筆者による。
- ¹¹ 謝聰輝, 2004。訳出は筆者による。
- ¹² 研究論文や調査報告書から大会組織委員会作成の各種パンフレット、新聞記事、本大会関連ホームページなどの文献資料調査と聞き取り調査を主なものとする。
- ¹³ 水源がなく植物の栽培が難しい地形。
- ¹⁴ 陣を形成する小グループのことである。
- ¹⁵ 沈峰明, 2001。訳出は筆者による。
- ¹⁶ 中華民國交通部觀光局(2001)。觀光政策白皮書。訳出は筆者による。
- ¹⁷ 2012年3月10日、内門紫竹寺総幹事、黄氏からの聞き取り。以下、黄氏からの聞き取りも同様。
- ¹⁸ 2012年3月10日、実践大学宋江鼓芸陣OB、許氏からの聞き取り。以下、許氏からの聞き取りも同日。
- ¹⁹ 自由時報2009年10月22日号。訳出は筆者による。
- ²⁰ 内門紫竹寺は、300年以上の歴史があり、観音菩薩を祀っている。1979年以前は、紫竹寺と呼ばれていたが、分裂を機に内門紫竹寺と呼ばれるようになった。本稿では、内門紫竹寺に統一して呼ぶ。
- ²¹ 南海紫竹寺は、内門地区内の分裂により1979年に建てられたものである。
- ²² 順賢宮は媽祖を祀っている寺院で、2000年に建設された。
- ²³ 台湾の習慣では神様と意思の疎通を図る時、ポエ占いを使う。
- ²⁴ ポエ占いとは、神様と意思の疎通を図る時に行われる台湾で習慣である。1つの石の平たい面が上に向く、もう1つの石の平たい面が下に向く状態は縁起がいいと見なされ、シンポエ（聖杯、聖盃）と呼ばれる。
- ²⁵ 高雄市政府, 2012a, p1。訳出は筆者による。
- ²⁶ 高雄市政府, 2012b 「2012年創作宋江陣頭審判内容及

び基準」より筆者翻訳。以下、評価基準に関しては、当資料に基づくものとする。訳出は筆者による。

- ²⁷ 高雄市政府, 2012b, p2。訳出は筆者による。
- ²⁸ 高雄市政府, 2012a, p7。訳出は筆者による。
- ²⁹ 台湾芸陣の文陣である車鼓陣（台湾伝統太鼓行列）と武陣である宋江陣を学ぶ目的とする大学におけるクラブ活動である
- ³⁰ 2012年3月10日、実践大学実践大学宋江鼓芸陣学生翁氏からの聞き取り。
- ³¹ 2012年3月10日、実践大学実践大学宋江鼓芸陣学生傅氏からの聞き取り。
- ³² 宋江陣の行列や隊形を指す。
- ³³ 2012年3月10日、宋江陣学者の吳騰達実践大学教授からの聞き取り。
- ³⁴ 2012年、第8回大会には、台湾各地の大学が応募し、選考に勝ち残った8大学が3月3日の予選に参加した。
- ³⁵ 布袋劇とは台湾の伝統的な人形劇である。人形の袋状の衣服の中に手を入れて操作する。
- ³⁶ 實踐大學宋江陣, 2012, p2。訳出は筆者による。

【文献】

- 何黎明他, 2008, 文化創意產業之節慶活動核心價值探討—以內宋江陣為例, 聯大學報, 5: 101-118。
- 交通部觀光局, 2001, 觀光政策白皮書。
- 沈峰明, 2001, 台灣宋江陣發展之研究。
- 謝聰輝, 2004, 台灣歲時節慶內涵析論人文及社會學科教學通訊, 15, 6-19。
- 徐麗霞, 2001, 宋江陣, 中國語文, 524: 103-114。
- 陳丁林, 1997, 南瀛藝陣誌, 南縣文化。
- 實踐大學宋江陣, 2012, 演出台本。
- 高雄市政府 a, 2012, 全國大專院校創意宋江陣頭大賽パンフレット。
- 高雄市政府 b, 2012, 2012年大学生創作宋江陣コンテスト審判内容及び標準。
- 董芳苑, 1982, 台灣民間宗教技藝—宋江陣, 中國論壇, 8: 25-32。
- 林英亮, 2002, 民俗體育簡介, 大專體育, 61: 133-139。

【参考URL】

- 實踐大學宋江鼓藝陣ホームページ (<http://www.wretch.cc/blog/waterbro/224420>), 最終閲覧2012年3月16日（現在は削除されている）。
- 自由時報ホームページ (<http://www.libertytimes.com.tw/2009/new/oct/22/today-south12.htm>), 最終閲覧2012年3月17日（現在は削除されている）。